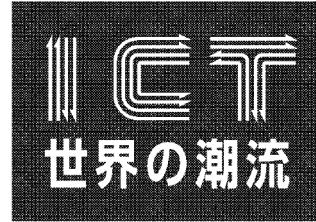


年月日

19  
11  
29

ページ

19  
NO.PART7  
23

## デジタルによる情報共有と民主化

国際社会経済研究所  
(NECグループ)主任研究員

松永 統行



国際観光都市  
クルーズ客船で地中  
海を北上し、バルカン  
半島とイタリア半島に  
挟まれたアドリア海に  
入ると、多くの世界遺  
産を抱えるクロアチア  
のドブロブニクとイタ  
リアのベネチアの二つ  
の国際観光都市にたど  
り着く。多くの観光客  
が訪れるこのような国  
際観光都市に、地元で  
働く人や次世代のため  
の利他的な活動が情報  
は大型旅客船の寄港を

空間の中に生まれてい  
る。

世界のクルーズ人口  
は年間2000万人を

制限し、ベネチアは運  
河への入港の禁止を方  
針として打ち出した。  
地域住民の生活や文化  
遺産の保護に対して受  
忍の限度を超えるオー  
バーツーリズムの問題  
が顕在化している。

A」が2007年に設  
立された。街の困り事  
をスマートフォンの画  
像でアップするコミニ  
ュニティーアプリケーシ  
ョン（応用ソフト）  
の垣根を越えた情報  
共有活動をオープンコ  
ミュニティーが支えて  
いる。地元住民が減り、  
客が押し寄せるように  
なった。ドブロブニク  
外資の旅行業者やホテ  
ル業者の経済活動が広

がる中で、旧市街は団  
体客が短時間過ごし、  
お金を落としていく場  
所に変貌していく。

こうした中、両都市  
では、新たな活動が情  
報空間の中に生まれて  
いる。ドブロブニクで  
は地域の発展に向け  
て、情報技術活用や起  
業、教育などを支援す  
る非営利組織「DUR

スマホで共有

的な機構の構築が始ま  
る。誰もが参画できる  
るタイミングに合わ  
せ、若い世代と一緒に  
なった試行錯誤が情報  
空間の中で展開されて  
いる。

スは、仕組みがまずあ  
り、それに対して組織  
を考え、デジタル化を  
進めた。しかしソーシ  
ヤル・ネットワーキン  
グ・サービス（SN  
S）の時代は、デジタ  
ル化によりコミュニティ  
ーが次々に発生、創  
造され、柔軟に仕組み  
が構築される。

ヨーロッパの主要陸路を海  
からつなぐベネチア港  
には、大型の貨物船と  
小舟が行き交う。港湾  
局はこの陸路網と大型  
船舶の管理がミッション  
だが、小舟のために、  
船舶の位置や天候など、  
港湾の状況に関連  
するあらゆるオープン  
データを重ね、スマホ  
分たちの住む街の民意  
を形成していく。先駆  
的技術を扱えるコミニ  
ュニティーの利他的な  
活動が地域を持続させ  
るエネルギーを生み出  
している。

### ■従来の情報化プロセス



### ■SNS 時代に生まれた情報化プロセス



# プロセス変え 困り事解決

（金曜日に掲載）

クルーズ客船で地中  
海を北上し、バルカン  
半島とイタリア半島に  
挟まれたアドリア海に  
入ると、多くの世界遺  
産を抱えるクロアチア  
のドブロブニクとイタ  
リアのベネチアの二つ  
の国際観光都市にたど  
り着く。多くの観光客  
が訪れるこのような国  
際観光都市に、地元で  
働く人や次世代のため  
の利他的な活動が情報  
は大型旅客船の寄港を